

平成23年度第1回千葉市下水道事業経営委員会議事録

1 開催日時:平成23年10月21日(金)午前10時00分から12時00分

2 開催場所:千葉市議会棟第三委員会室

3 出席者

【委員】

大迫健一委員長
瀧和夫副委員長
泉登茂子委員
工藤秀明委員
伊藤昭雄委員
佐久間水月委員
伊藤久恵委員
吉成康次委員
蝦名尚英委員

【事務局】

君塚建設局次長
森下水道管理部長
高橋下水道建設部長
椎名下水道管理部技監
吉澤下水道建設部技監
永嶋下水道経営課長
宮内下水道計画課長
曾我辺下水道営業課長
石原下水道維持課長
福本中央浄化センター所長
鈴木南部浄化センター所長
出山下水道経営課主幹
石川下水道経営課長補佐
鎗田下水道計画課長補佐

4 議題及び報告事項

議題

- (1)平成23年度予算について
- (2)平成22年度決算について

報告事項

- (1)千葉市中央浄化センター等及び南部浄化センター等包括的維持管理委託について
- (2)東日本大震災に係る下水道施設の復旧スケジュール等について

その他

中央雨水ポンプ場完成式典について

5 会議経過

議題

(1)平成23年度予算について

【概要説明】

事務局

次の資料について説明。

平成23年度下水道事業会計予算の状況

平成23年度予算における重点事務事業

企業債について

事務局

上下水道料金一括徴収事務について

事務局

防水版設置工事助成制度の目的と概要

【質問・意見等】

委員

【平成23年度下水道事業会計予算の状況について】

23年度の減価償却費83億円は、補助金で購入した施設等の減価償却費も含まれているのですか。

事務局

千葉市の場合は、みなし償却をしているので、剰余金で整理された財源については償却しておりません。

委員

平成23年度予算書33ページにある資本剰余金の3,150億円はどういった性質のものですか。

事務局

受贈財産・国庫補助金などで他の団体からいただいたお金又は物について資産の財源として整理して掲載しています。

委員

例えば、中央雨水ポンプ場が40億円として補助金20億円、企業債20億円とした場合、減価償却はどのようになりますか。

事務局

減価償却については、企業債部分のみ行います。

委員

BSの資本剰余金の金額は、総資産額の約半分となっていますが、補助金等については減価償却はしないということですか。

事務局

受贈資産や国庫補助金で造られた資産は償却しません。受贈財産・国庫補助金など他の団体からいただいたものについては、その性質上、資産の減価償却をして下水道料金に反映すると料金が高くなることから、剰余金で整理された部分は償却しません。

委員

他会計補助金の増理由で、生活保護減免の増となっておりますが、生活保護費が増えていることと考えよいですか。またその傾向は他市でもそうですか。

事務局

生活保護費は、保健福祉局で担当していますが、千葉市も生活保護受給者が非常に増えており、懸案になっております。千葉市以外の政令指定都市を含め、他市も同じ状況だと思われま

す。他会計補助金は、主に生活保護の世帯に対する下水道使用料の減免ということで、その分を一般会計から補てんを受けているものです。

委員	千葉市の生活保護者数はどれくらいですか。また、生活保護費は国庫からきているものですか。
事務局	国庫補助金と他に単独費もあります。 所管外なので詳細には説明できませんが、国庫補助金で賄えない分については千葉市の税金が使われるということになります。 また、生活保護者数の件についても、同じく所管外になりますが、23年度当初予算では、生活扶助、医療、介護、住宅、教育扶助等色々事案がありますが、生活保護受給について延べ47万2,000人と計上されています。
委員	収入のその他資本的収入のところに、入札談合損害賠償等とあるが、これはどういうものですか。
事務局	過去に談合事件があり、千葉市が損害を受けた金額を返還してもらっているものです。
委員	毎年計上されているのは、継続的にこういう事実があるということですか。
事務局	過去に1件あり、これを毎年分割で返還してもらっています。
事務局	それは、平成14年度の談合事件であり、平成16年度から26年度で分割となっています。
	【平成23年度予算における重点事務事業について】
委員	重点事務事業の管渠の改築更新・雨水管などの整備の中に震災被害分は含まれていますか。
事務局	重点事務事業の内容は、当初予算のものであり、東日本大震災は補正予算のため含まれていません。 東日本大震災の被害状況や補正予算等の対応については、後ほど詳しく説明します。
	【防水版設置工事助成制度の目的と概要について】
副委員長	浸水被害は、住宅が増えたことも原因と言われています。浸水対策は、雨水浸透柵の設置なども有効と考えられますが、下水道の予算に雨水対策は含まれていますか。
事務局	従来は5年確率で考えて6割程度の整備状況であったが10年確率に引き上げた施設の規模で整備を進めています。 また、千葉市も雨水浸透施設の設置をやっており、個人住宅部分については雨水浸透柵を設置する場合の助成も行っています。
事務局	個人住宅向けの雨水浸透柵や貯留槽を宅内設置したり、浄化槽を転用して雨水をためることに補助を行っています。
委員	千葉市の10年確率降雨は、時間何mmですか。
事務局	53.4mm/hです。
委員	これまでの50mmから53.4mmでの整備ということですか。
事務局	確率降雨の上げ幅は小さいですが、元々の5年確率と言われていた50mmも検証した結果7年相当分となっています。また、都市化によって管に流入する雨の量が、従前想定していた5割程度から現在は約7割程度に増加しており、この数値を計画上反映させ、見直したことにより、排水能力を大きく向上させています。

議題

(2)平成22年度決算について

【概要説明】

事務局

次の資料について説明。

平成22年度下水道事業会計決算の状況

【質問・意見等】

委員

【平成22年度下水道事業会計決算の状況について】

BS上の資産については、6,000億程度あるが、補助金部分についての表示金額はどういうものですか。圧縮償却した後ですか。

事務局

補助金等が財源の資産は取得価格で表示しています。

委員

決算で約77億円の減価償却費は補助金部分の資産の減価償却も含まれていますか。

事務局

みなし償却のため減価償却費の中に補助金部分は入っていません。

委員

下水道事業会計規則第104条第2項を調べました。圧縮償却をしないでと書いてあります。圧縮記帳はいつの時点でやったのですか。

事務局

圧縮償却、圧縮記帳という言い方ですが、簿価を下げているのではありません。みなし償却をするということで、剰余金相当額を除いた額を償却額としています。

これに関連して、今後、国の制度が変わり、剰余金部分のみなし償却は是正されます。今の予定では平成26年度から、この部分についてはみなし償却ができなくなります。

みなし償却ですと、帳簿上の評価額が膨らんでみえますが、それを現在の価格にあった評価額になるよう今、制度改正が進んでいるので、それを見据えながら対応していきたいと思います。

委員

例えば、100億円の資産のうち60億円を補助金で40億円を企業債で購入した場合、補助金部分は、稼働前に圧縮記帳をしないのですか。

事務局

圧縮記帳してません。

委員

補助金(資本剰余金)が残っているのだから、圧縮記帳をやっていないのですね。

資産の現在高に補助金分が残っており、77億円の減価償却費には補助金分は入っていないのですね。

千葉市下水道事業会計規則104条のとおり圧縮記帳するべきではないですか。

委員長

国庫補助金などは、目的外などで使用することとなった資産があった場合などは、国に返還しないといけないのだから、国庫補助金などの処分は除却のときのみ行うことではないのですか。

委員

事業の優先順位などはありますか。

事務局

22年度決算において普及率は97.2%となり管渠延長は少なくなっています。
経営のことを考えれば、管渠に接続してもらえないと使用料が確保できないので、接続率を高めるために、条例改正により単独浄化槽を使用している世帯には、1年以内に接続するよう指導を強化しています。
ただし、経済的理由や近々に家を取り壊すなどの理由があれば猶予はしています。
また、他にも職員と民間委託業者とで、接続率向上に努めています。

委員

下水道事業は、投資効率の悪い事業と考えている。地方公営企業法では、1円まで減価償却できるはずで、現状では内部留保資金で企業債償還を賄っていないわけだから、千葉市の決断で1円償却にしたらどうですか。

事務局

下水道の場合企業債償還期間が概ね30年に対して減価償却期間が平均44年と言われており各年度の内部留保資金で企業債償還金を賄えないことから、本市では、16年度から資本費平準化債を発行して対応しています。
減価償却については、現行どおり95%までの償却で継続しますが、国の制度改正の検討課題となっている状況ですので、様子を見て対応を図って行きたいと思います。

報告事項

- (1)千葉市中央浄化センター等及び南部浄化センター等包括的維持管理委託について
(2)東日本大震災に係る下水道施設の復旧スケジュール等について

【概要説明】

次の資料について説明。

事務局

千葉市中央浄化センター等及び南部浄化センター等包括的維持管理委託について

事務局

東日本大震災に係る下水道施設の復旧スケジュール等について

【質問・意見等】

【千葉市中央浄化センター等及び南部浄化センター等包括的維持管理委託について】

委員

入札で1社しか参加しなかった理由はなんですか。

事務局

公告をして、広く募集をかけたが、結果として1社しか応募がなかったためです。

【東日本大震災に係る下水道施設の復旧スケジュール等について】

委員

復旧金額について24億円程度計上されているが、損害額はどれくらいになりますか。

事務局

被害を受けた部分の除却額等については今後の工事の状況を見ながら整理していきます。

副委員長

下水汚泥等の放射性物質の測定結果についての資料中に「検出せず」という表現があるが適切なのですか。
「検出せず」という意味は、測定機械の能力により、ある数値以下の放射性物質は検出できないだけであり、全く放射性物質がないということではないと考えられるので、例えば〇〇以下と表現する方が正確であり、市民に対して信頼性を高めるうえでよいのではないのですか。

事務局

「10ベクレル以下」など表現について検討してみます。

副委員長

同じく資料中の放射性ヨウ素131の9月21日欄で脱水汚泥は11ベクレル/kgとなっており、汚泥焼却灰については検出せずとなっているが、ヨウ素の性質上熱を加えるとなくなるのですか。

事務局

詳しいことはわかりませんが、揮発性のため熱で分解されると聞いていますが、放射性物質の性質から考えると熱により無くなると思われません。

副委員長

大気中に出ていったのでしょうか。

事務局

資料中のものは同日に採取していますが、汚泥と焼却灰が同じ検体(サンプル)のものではありません。

副委員長

同じ汚泥を焼却したものでもなく、一般的にこれだけの回数検査を行っていれば、数値は平均化されて、データとしての信頼度は高まるものと考えています。